

## 会社情報 (2020年6月30日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	207億8,525万6,958円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	1976年8月3日	従業員数	869人(連結3,576人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

## 役員

代表取締役会長	かねこ けんじ 金子 雄二	社外取締役	くどう かずなお 工藤 和直*
代表取締役社長	ふるかわ けんいち 古川 健一	社外取締役	のなみ けんぞう 野波 健蔵*
代表取締役副社長(上席執行役員)	たかぎ けいすけ 高木 圭介	常勤監査役	ほさか あきお 保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	つかもと ひでき 塚本 英樹	常勤監査役	わたぬき ゆういち 渡貫 雄一
常務取締役(上席執行役員)	まえじま ひろふみ 前島 裕史	社外監査役	しもじょう まさひろ 下條 正浩*
取締役	ファン ジンファ 黄 錦華	社外監査役	ながしま たかし 長嶋 隆*
社外取締役	ふるた かつひさ 古田 勝久*	社外監査役	おくやま とみお 奥山 富夫
社外取締役	いなさき いちろう 稲崎 一郎*		

\*東京証券取引所の定める独立役員であります。

### ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を  
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

### コーポレートサイト



### IRサイト



株式会社 ソディック

〒224-8522  
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
TEL:045-942-3111

株式会社 ソディック

東証1部:6143



# Sodick Times

2020年12月期(第45期)中間報告書  
2020年1月1日～2020年6月30日

Special  
Feature

TOP MESSAGE  
ソディックの長期的戦略



# ソディックの 長期的戦略

With コロナ時代の新しいソディックの創造に向けて

新型コロナウイルス感染症は世界の経済活動に深刻な打撃を与え、人々の生活の在り方も大きく変わりました。With コロナ時代に持続的に成長するために、私たちは新しいソディックを創造していきます。

代表取締役社長

古川 健一

## 新型コロナウイルス対策と With コロナ時代の展望

全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナ）は、人々の生活と企業の事業活動に深刻なダメージを与え、当社も多大な影響を受けました。そのなかで当社は社員をはじめステークホルダーの皆様の健康を最優先に感染拡大の防止に努めた事業運営を行いました。

政府の緊急事態宣言に先駆け、1月下旬には対策本部を設置し、2月に開催予定であった決算説明会や各種展示会への出展を見合わせました。また、社内では在宅勤務の徹底から、日常的な健康管理、柔軟な勤務シフト、自粛生活のストレス対策まで、社員のケアを十分に行い、感染リスク低減に向けた取り組みを行いました。

社会的には在宅勤務や時差出勤が可能な業界、困難な業界が浮き彫りになりましたが、当社では働き方改革の一環として以前からトライアル的に実施していたので、比較的

スムーズに運用できたと感じております。

また、新型コロナへの対応として経験した在宅勤務、業務の電子化・オンライン化によって、社員の仕事に対する価値観は変わりました。With コロナ時代に向けて、より健康的で効率の良い働き方をめざし、全社一丸となって新しいソディックの業務環境を創造していきたいと思っております。

また、この脅威に対し、社会の一員として何かできることはないかと考え、金属3Dプリンタ技術を応用し、フェイスシールド用フレーム「Face Tech」を開発。医療施設や学校法人などの公共機関だけでなく、社会を元気づけるうえで不可欠なスポーツ関連団体などにも寄贈しています。今後は事業やビジネスモデルという枠組みにとらわれることなく、CSRの観点からもWith コロナ時代における社会の持続的な成長に貢献したいと考えています。

▶ 金属3Dプリンタ技術を応用し、フェイスシールド用フレーム「Face Tech」を開発



◀ 「Face Tech」で作ったフェイスシールド

## 2年目を迎えた長期経営計画

### 『Next Stage 2026～Toward Further Growth～』

当社は、創業50周年を迎える2026年までの長期経営計画『Next Stage 2026～Toward Further Growth～』を策定しました。これは、自動車産業の変革、IoT・AI技術の進化、5Gの普及、新興国におけるものづくりの高度化をはじめ、当社を取り巻く国際的な環境の変化に柔軟に対応しながら、持続的な成長をめざすためのビジョンです。

初年度の2019年は、米中貿易摩擦の影響によって厳しいスタートとなり、2年目である今期は新型コロナによって厳しい事業環境が続いております。また、今後は世界的な景気弱含みの継続と地政学的なリスクが高まることも

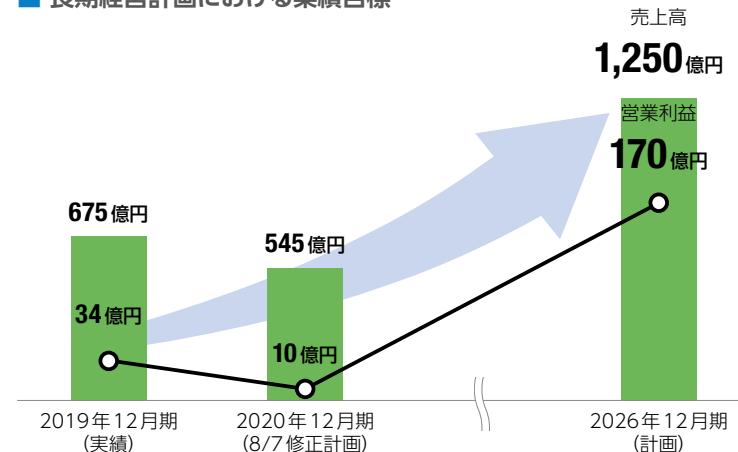
予想されるなかで事業運営を行っていくこととなります。このような事業環境を踏まえ、今期は、業績予想を売上高545億円、営業利益10億円で修正しております。

その一方で、近年の著しい技術の進歩に伴い、どの産業においてもさらなる高精度化、微細化、複雑化、環境負荷の低減が求められており、中長期的には当社の強みが活きる市場が拡大する時代になりつつあるともいえます。また、食品機械事業においてもアジアを中心とした海外市場や惣菜、野菜、パン等の新分野を開拓してまいります。

(単位:億円)

	2020年12月期通期業績予想		増減
	期初計画	修正計画	
売上高	678	545	△133
営業利益	38	10	△28
経常利益	38	10	△28
当期純利益	31	5	△26

#### ■ 長期経営計画における業績目標



## 会社の持続的な成長に向けた事業ポートフォリオの在り方とNext Stageを担う人材の育成

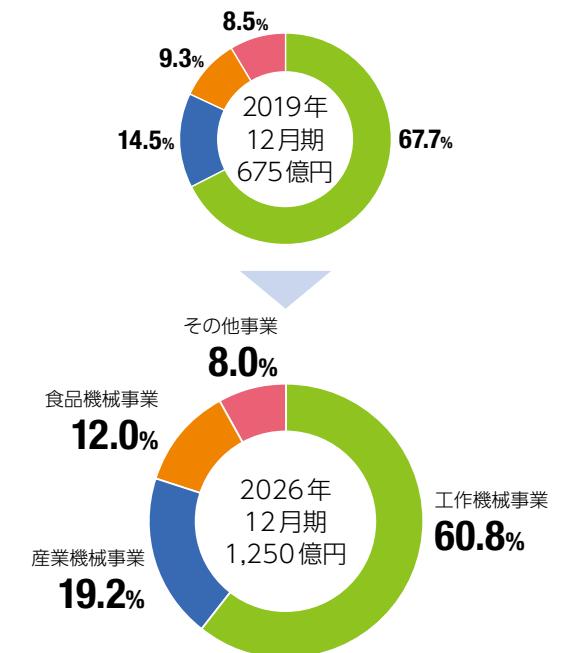
ソディックの強みは、コア事業の優位性・一貫体制によるものづくり・グローバルな展開力の3つですが、工作機械や産業機械は景気変動の影響を受けやすいため、リスクを分散させ、グループ全体の収益性・安定性・成長性を確保するポートフォリオ経営に取り組んできました。その一つが食品機械事業です。製麺機や無菌包装米飯製造装置は景気変動に関係なく安定した需要があり、放電加工機、射出成形機に次ぐ第3の柱に育てるために資本を投下。製造ライン全体をトータルで手掛けているという強みを発揮し、最適なソリューションをご提案しています。今後、中国やアジア市場での需要拡大に対応すべく、中国・アモイ工場での生産など生産能力を拡充し、2026年までに売上高150億円を超えるビジネスにしたいと考えています。

一方、ESG関連では、柔軟な対応力と先見性、チャレンジ精神を併せ持つ人材を育成するための仕組みづくりの一環として今年度より次代の経営幹部候補をめざす『グローバル総合職』を導入。管理職として活躍するマネジメント職と専門性を追求するエキスパート職の選択も可能になりました。また、有給休暇、育児・介護休暇、在宅勤務やRPAの導入等の働き方改革に併せ、人事評価制度も刷新。年齢・性別・国籍に関係なく一人ひとりが「創造」「実行」「苦労・克服」によって発揮した能力を正當に評価する体制を整えました。

先行きが不透明な時代だからこそ、こうした取り組みによって組織と個人の力を伸ばし、持続的な成長につなげていきたいと思っています。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

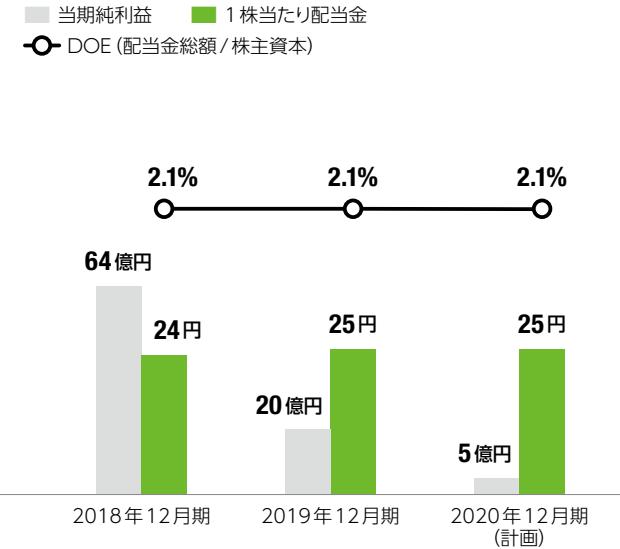
#### ■ 持続的な成長に向けてめざす事業ポートフォリオ



## ソディックの配当の考え方

当社では、持続的な成長のための研究開発や設備投資に必要な内部留保を確保しつつ、事業特性からくる業績の変動を鑑み、安定かつ継続的な配当を実施するため、DOE（株主資本配当率）2%以上を目標として考えております。

市況環境も良く好調であった2018年と比較し、米中貿易摩擦等の影響もあり業績が振るわなかった2019年においても減配はせず、安定的な配当を継続しました。また、今期においても新型コロナウイルス感染拡大が大きく業績に影響しておりますが、2020年12月期の中間配当は1株につき12円、期末配当は13円の年間配当25円を予定しております。



### DOE (Dividend on equity ratio: 株主資本配当率) とは？

DOEは、株主資本に対して、企業がどの程度の配当を支払っているかを示す財務指標です。株主資本という元手に対して、企業が株主様に年間どれだけ配当金としての還元をしたかを見ることができます。

$$\text{DOE} = \frac{\text{年間配当総額}}{\text{株主資本}}$$



## 機動的な資本政策 (自己株式取得・消却の実施)

今期の3月に入り、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で、当社の株価は大きく下落しました。当社では、PBRが0.5倍を割り込んだことを契機に、需給改善や株式価値の向上を目的とした機動的な資本政策として、自己株式の取得及び消却を実施しました。

取得開始後、株価が想定していた買付価格より高い水準で推移したことから結果的には、取得の上限に達しないまま取得を終えております。

今後も、目まぐるしく変化する経営環境に対し、株式価値向上に向けた機動的な資本政策を実施してまいります。

■ 当社の株価の推移 (単位:円)



### ■ 取得の概要

	2020年3月23日取締役会における決議内容	取得結果
取得株式総数	2,000,000株(上限)	87,900株 (消却前発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.19%)
取得価額の総額	1,000,000,000円(上限)	52,952,700円
取得期間	2020年3月24日～2020年6月12日	

### ■ 消却の概要

消却株式数	87,900株
消却日	2020年6月30日

昨年受賞の形彫り放電加工機 AP30Lに続き、2年連続受賞

**大型形彫り放電加工機 AG200Lが  
2019年第62回十大新製品賞「モノづくり賞」を受賞**

今回、受賞したAG200Lは、ベストセラーである形彫り放電加工機 AGシリーズの中で大型金型加工に対応したストローク最大級の放電加工機です。近年、バンパーやフロントグリルなど、より大型で複雑な形状が求められる自動車向けの大型金型加工のニーズに対応するために開発しました。X軸の移動量が2メートルの大型機でありながらも中型機並みの高い加工精度であり、金型表面は仕上げの手磨きが不要なほどの精密さです。これら最新技術のものづくりをリードする画期的な性能が高く評価され、受賞に至りました。



▲ 大型形彫り放電加工機 AG200L

**経済産業省認定 2020年版  
「グローバルニッチトップ企業100選」に認定**

グローバルニッチトップ企業100選は、経済産業省が国際市場開拓に取り組み、ニッチ分野で高いシェアを持つ、経営良好な会社を認定し、知名度向上や海外展開支援等を目的に実施されています。当社主力製品であるNC放電加工機は、世界トップクラスの加工精度・速度・品質を実現し、自動車、電子機器、航空宇宙、医療機器等の幅広い産業分野に用いられる微細で複雑な金型等の加工に強みを発揮します。この当社の独自技術が高く評価され今回の認定に至りました。



▶▶ **5月15日スタート** **特設サイトにて  
Web展示会を開催中**



Web展示会への  
リンクはこちら



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種展示会やイベントの中止、お客様先へのご訪問が難しいなか、新たな営業手法の一つとしてWeb展示会を開催しています。Webならではの詳細な情報や様々な機能・加工実例の動画など、多彩なコンテンツをご用意しています。ぜひご覧ください。

Web展示会でできること…

■ 加工実演

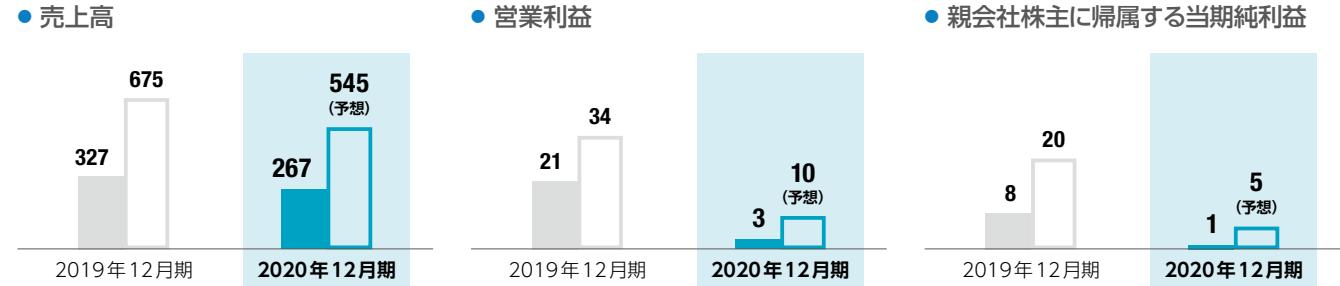


■ 機械の性能紹介



## 業績・財務ハイライト

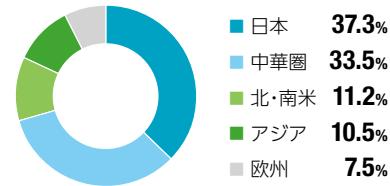
### 連結損益計算書の概要 (単位:億円)



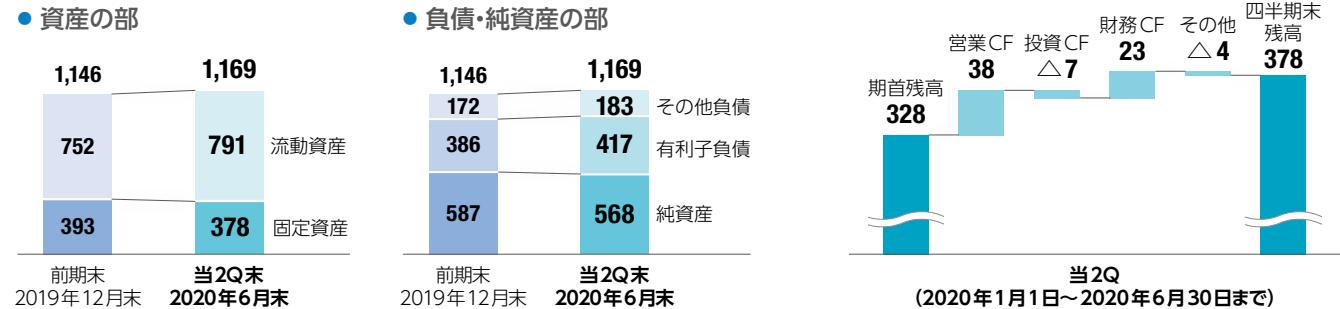
### セグメント別売上高構成比 (2020年12月期第2四半期累計)



### 地域別売上高構成比 (2020年12月期第2四半期累計)



### 連結貸借対照表の概要 / 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)



IRサイトでさらに詳しく IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報がご覧になれます  
[https://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR 検索



## 株式情報 (2020年6月30日現在)

### 株式情報

発行可能株式総数 150,000,000株  
 発行済株式総数 53,363,016株  
 株主数 10,669名

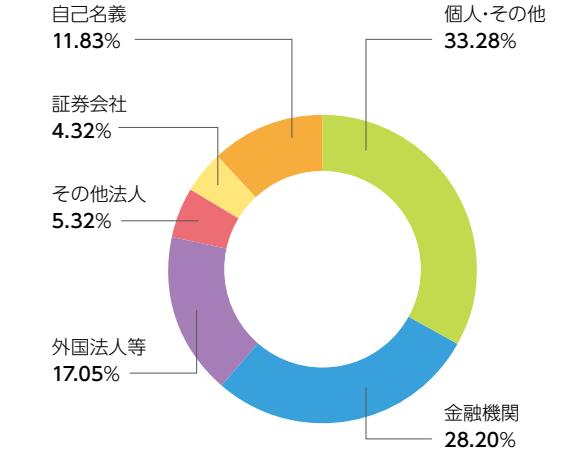
### 大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	6,310,499	11.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,224,700	7.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,410,700	6.39
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	1,265,800	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,066,100	2.00
ソディック共栄持株会	953,800	1.79
有限会社ティ・エフ	895,000	1.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	888,800	1.67
JPモルガン証券株式会社	872,911	1.64
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	864,000	1.62

### 株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日  
 株主確定日 ● 定時株主総会、期末配当金:12月31日  
 ● 中間配当金:6月30日  
 定時株主総会 毎年3月  
 公告の方法 電子公告により行う  
 (公告掲載URL) <https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html>  
 ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

### 所有者別株式分布状況



株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
 同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 TEL 0120-288-324 (通話料無料)  
 特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1  
 新東京郵便局私書箱29号  
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部  
 証券コード:6143